

とよひら・りんく NewsLetter

発行 札幌市豊平区西岡・福住地区在宅医療連携拠点事業推進協議会 「とよひら・りんく」事務局



第 3 回合同会議の様子

札幌市豊平区西岡・福住地区在宅医療連携拠点事業推進協議会



平成 30 年度 第3回合同会議を開催しました。

平成 30 年 11 月 26 日（月）18：30～20：00（豊平区民センター）

平成 30 年度、第 3 回「合同会議」を開催いたしました。

行政・医療・介護関係者等、64 名が参加されました。

栄養サポートチームの取り組みと誤嚥しない食事介助

今回は「食べること」をテーマに講演を行いました。

- ・西岡病院 消化器科医長 大平 典明 先生 — NSTの取り組み
- ・西岡病院 言語聴覚士 小笠原 剛 氏 — 誤嚥しない食事介助

大平先生からは、西岡病院のNST（栄養サポートチーム）の取り組みと先日開催した介護施設との病院食と介護施設でのお食事の試食会の様子の紹介をしていただきました。

小笠原言語聴覚士からは、嚥下状態を動画で示していただくなど、食事介助する上での注意点（ご利用者の姿勢など）を分かりやすく説明をしていただきました。

《アンケートより》（一部）

－NSTの取り組み－

- ・NSTの取り組みを他の施設、職種の皆さんに知っていただき良かったです。多職種が栄養面で話し合いができる良いチームだと思って取り組んでいます（病院看護師）
- ・NSTの職種ごとの役割について知ることができました（調剤薬剤師）。
- ・NSTがあることを知り、今後在宅でのアセスメントを情報として伝えていきたいと思いました（介護支援専門員）。

－誤嚥しない食事介助－

- ・食事形態だけではなく、姿勢や環境も誤嚥しない方法につながるとわかりました（調剤薬剤師）。
- ・知識として、ご利用者、ご家族にお伝えできるといと思いました（介護支援専門員）。
- ・完全側臥位法がとても勉強になりました（介護施設職員）



大平 典明 先生



小笠原 剛 氏

「とよひら・りんく連携システム」について

実際の活用例（症例）を紹介させていただきました。入院医師、訪問診療医師、医療ソーシャルワーカー、訪問看護師、訪問薬剤師、ケアマネジャーなどが「連絡帳」にコメントを入れることで、連携がより深まった症例もできました。

《アンケートから》（一部）

- ・現場でも振り返りなどができるといいと思いました（病院看護師）。
- ・在宅の事例では有効利用をされていると感じましたが、病院での活用に関しては、まだまだ手ごたえを感じていないです（病院看護師）。
- ・先生（医師）に連絡ができるのは便利です（介護支援専門員）。
- ・活用できる部分とタイムリーに活用するには課題があると思いました（介護支援専門員）
- ・活用しているところをスライドで紹介いただきイメージがわかりました（介護施設看護師）

札幌市豊平区西岡・福住地区在宅医療連携拠点事業推進協議会



本連携システムについては、とよひら・りんくホームページ「事業案内」→「在宅医療従事者の負担軽減の支援」から閲覧することができます。各書式もこちらからダウンロードして、活用ください。

ご不明な点は事務局（西岡病院）までお問い合わせください。

とよひら・りんくホームページ

<http://www.toyohiralink.jp/>

とよひら・りんくの事業内容

多職種連携の課題に対する解決策の抽出

「顔の見える関係の構築」

地域の医療福祉従事者の「顔の見える関係」の構築のため、地域の在宅医療に関わる多職種が一堂に会する場を設けます（年4回以上）。

会合では下記の内容を実施します。

1. 地域における連携上の課題の抽出、解決策の検討
2. 学習会、症例検討会の実施
3. その他問題となっている事項に関する検討

→会議内容は活動報告より

[>>トップへ](#)

在宅医療従事者の負担軽減の支援

「連携体制を構築するためのネットワーク化」

連携システムを用いて、在宅医療を提供する機関のネットワーク化を図り、地域関係機関が互いに機能を補完する体制を構築します。

多職種情報共有システム「バイタルリンク」 <https://teijin-331.jp/>

- ・連携システム運用利用規定
- ・様式の責任者→S管理者（利用申込書）

お知らせ

アドバンス・ケア・プランニングの愛称が「人生会議」となりました

厚生労働省は11月30日、アドバンス・ケア・プランニングの愛称を「**人生会議**」とすることを発表しました。

アドバンス・ケア・プランニングを広く浸透するために愛称を公募し、約千件の応募から選ばれました。

選定理由：・意味が明確な単語の組み合わせにより、日常会話に浸透していくことが期待できる。

- ・家族等、信頼できる人たちと輪を囲んで話し合う、というイメージが湧く。

また、11月30日（いい看取り・看取られ）を「人生会議の日」とし、人生の最終段階における医療・ケアについて考える日とすることも同時に発表されました。

厚生労働省関連ホームページ：https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_02615.html

平成30年度合同会議のご案内（予定）

第4回合同会議 平成31年 3月25日（月）18：30～20：00 豊平区民センター

「北海道胆振東部地震を振り返る」をテーマに医療機関、介護施設、在宅事業所の報告とグループワークを行います。

とよひら・りんく事務局 西岡病院 地域連携室 岡村・田附・横田 ホームページ：<http://www.toyohiralink.jp/>

電話 011-853-8322（平日 9～17時） メールアドレス：info@toyohiralink.jp